

知られざる幕末会津藩北辺防衛の歴史1

- 加賀家文書館第 11 回特別展から -

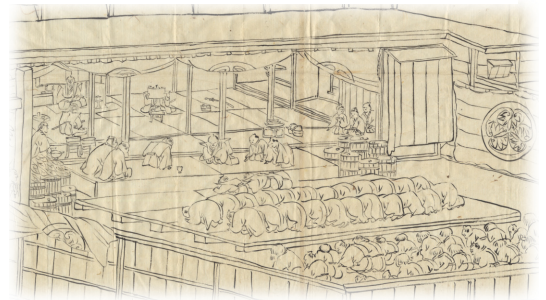
幕末の根室管内は、会津藩・仙台藩が 警備開拓にあたっていた！

現在放送中の NHK 大河ドラマ「八重の桜」は新しい時代に入りましたが、今まで放送中の幕末の時期に会津藩がこの地方を警備開拓していた事実はあまり知られていません。今月号より、10 月から再開される特別展の内容を元に会津藩北辺防衛の歴史について、紹介したいと思います。

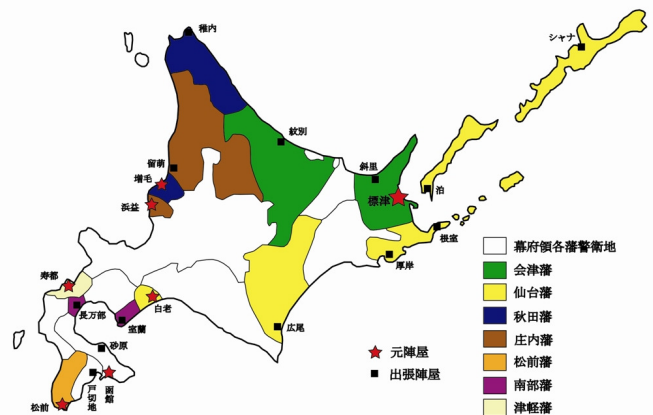
嘉永 6 年(1853)。アメリカのペリーが浦賀に黒船で来航した同じ年に、ロシアのプチャーチンも長崎に来航し、日本列島北辺での国境画定と、ロシア船補給のための開港を迫りました。これを受け、翌安政元年(1854)12 月には日露和親条約が締結され、千島列島の択捉島とウルップ島間に国境が定められました。明確な境界の無い地域であった蝦夷地が、国家間が取り決めた国境の内に組み込まれ、近代国家日本の一部となりました。

安政 2 年(1855)、江戸幕府は松前藩の支配地であった蝦夷地を直轄地とし、仙台、秋田、津軽、南部、松前の五藩に蝦夷地警備を命じました。しかし多大な財政負担を強いることから、仙台藩は幕府に警衛地を各藩の領地とし、そこでの開拓権を得られるよう上申しました。これにより、安政 6 年(1859)11 月、松前藩を外し、替わって幕府の信頼厚い会津、庄内の二藩を加えた東北六藩による、蝦夷地分割統治が始まることになりました。

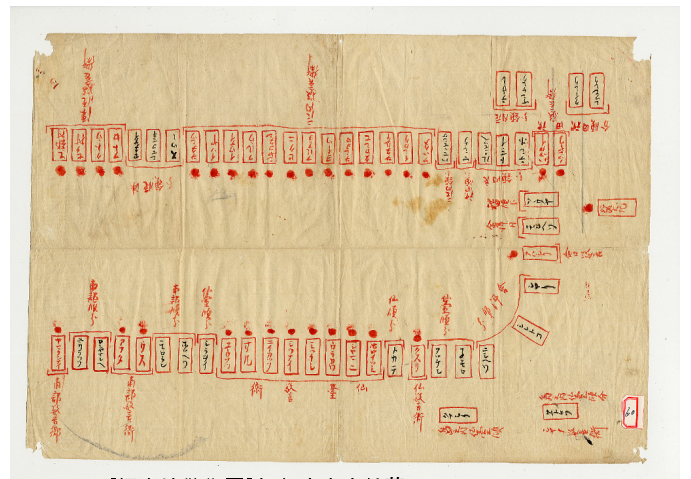
根室場所(現在の根室管内と色丹島・歯舞群島)は、西別(別海町本別海-正確には、西別川の南側の古川から中西別シカルンナイ川が境界)から紋別までの領域が、会津藩領、西別から南の根室全域は仙台藩領となりました。会津藩は分割統治の風評がある頃に、江戸に住んでいる松浦武四郎に一ノ瀬紀一郎らの藩士を向かわせ蝦夷地の情報を聞いていたようです。西別川も会津藩領となり、幕府に献上する鮭が取れる川ということもこの時、聞いていたのではないのでしょうか。



「万延元庚申秋八月廿九日寒所領本川会所御武者之図」
会津藩士 一ノ瀬紀一郎 加賀家文書館蔵



安政 6 年(1859)の蝦夷地各藩領区分図



[蝦夷地警衛図]加賀家文書館蔵

第 11 回特別展 ■期 間 平成 25 年 10 月 8 日(火)～11 月 28 日(木)
■場 所 別海町郷土資料館附属施設 加賀家文書館

サマースクール(勾玉づくり)を開催しました。

8月1日(木)2日(金)の2日間、参加者33名で開催されました。はじめに、別海町の大昔のお話をしました。縄文時代の遺跡、土器、石器、人骨など遠い昔から生活の営みがあったことがわかったかと思います。そうした中で、縄文人が装飾品として身に付けていた「勾玉」作りに挑戦しました。石は滑石を使いサンドペーパーで真剣に削りました。2時間ほどで思い思いの勾玉が完成しました。参加してくれた小学生は夏休みの工作として出品するそうです。



出前移動展を開催しました。

8月1日(木)から29日(木)野付半島ネイチャーセンターにて、出前移動展を開催しました。「近世の別海を語るⅢ～野付半島編」で、近世幕末の文献資料などから、野付半島の様子を紹介したものです。期間中たくさんの観光客の目に触れ、神秘的な野付半島の歴史を感じ取ってもらえました。



加賀家の故郷秋田県八峰町中学生が来館されました。

8月5日(月)秋田県北方領土返還促進協議会主催の北方領土青少年等現地視察支援事業として、加賀家のふるさと八峰町から中学生一行21名が、加賀家文書館・郷土資料館に来館されました。

加賀家文書館では、加賀家の職務や別海町との関わりなどを学び、郷土資料館では、古代から現代への変遷のお話をしたあと、見学してもらいました。マンモスゾウ臼歯化石や動物の剥製などに人気があり、特に巨大ヒグマと一緒に写真を撮るなど、別海町の気候風土に触れる良い研修になったかと思います。



マンモスゾウ臼歯化石レプリカを展示しました。

野付半島沖から発見されたマンモスゾウ臼歯化石(当館所蔵)のレプリカを野付半島ネイチャーセンターに展示しました。レプリカの作成は当館職員の手作りによるもので、本物と見間違うくらい精巧に出来ています。多くの方に野付の貴重な文化遺産を知ってもらえればと思います。パネルも当館で図版を作成し一新されました。ぜひ、ご覧下さい。



別海町郷土資料館だより No.170

発行日 平成25年9月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

9月に入りましたが、すっきりしない天気です。太陽が恋しくなりますね。雨続きで野外の活動も中々難しいです。夏季事業も無事終了し一段落しましたが、新たな仕事もどんどん入ってきますが、みなさんからの歴史や自然に関する情報もお待ちしています。(担当 KI)